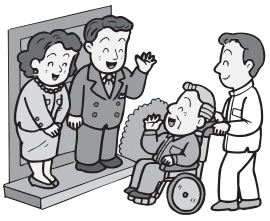
【高度急性期病院や地域医療機関との連携】

いつでも高度急性期病院への紹介が可能であることは、患者さんにとって安心して受診ができる大きな要素となります。また、在院日数の短縮が必要な高度急性期病院での治療後の受け皿として機能する病院であることもまた、安心のできる要素となります。診療環境・療養環境や設備の整備により高度急性期病院との連携が可能となる病院となるように計画します。同時に地域の病院・診療所や介護施設などとの連携も強化し、地域連携室の機能の向上を図ります。

【介護・福祉・在宅との連携】

仁淀病院が、地域から望まれる病院としての機能を維持していくためには、旧来の医療の枠を超えて、介護・福祉・在宅への視点・連携が必要となります。地域医療連携室・医療相談室に加えて、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションがその機能を発揮することとなります。地域包括支援センターや吾北診療所・長沢診療所との連携や協働が町民に分かりやすい施設構成を心掛け、結果として町民の信頼につながるように配慮してまいります。

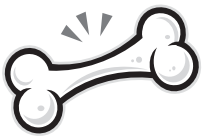


【ふれあいストリートに地域連携拠点を集積】

地域との密接な連携のため、「地域医療連携室・医療相談室」「健診センター」「訪問看護ステーション」など町民とのコミュニケーション部門を1階「ふれあいストリート」と称した廊下沿いに配置します。これにより、町民にストリートが「地域との窓口」と印象づけます。また買い物から生まれるコミュニケーションを意識し、利便施設である「売店」も併せて配置します。

測定無料

『ほねほね相談会』やってます！



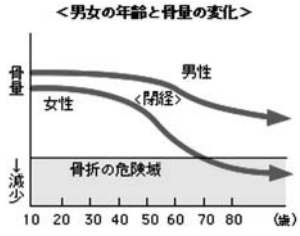
日　　時	**毎月第３火曜日　９：30～11：00**
場　　所	**すこやかセンター伊野 １階**
内　　容	**骨密度測定、栄養相談、保健相談**
定　　員	**＊事前に来所希望の時間に予約もできますので電話でお申し込みください。** **＊１人おおむね10分程度かかります。**

平成23年度の実施予定　※平成24年３月のみ祝日のため、第２火曜日に実施します。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19日	17日	21日	19日	16日	20日	18日	15日	20日	17日	21日	13日

町では毎月１回『ほねほね相談会』を行っており、初めての方から継続の方までたくさん参加していただいています。骨は長年の生活習慣を経て変化していくもので、骨密度は下記の通り、20～30歳代をピークに減少していきます。若いころから自分の骨密度について知っておき、その後の減少に備えることも重要です。

骨密度測定はかかとの骨で簡単に調べることができ、測定結果の説明や、栄養・運動についてのアドバイスを管理栄養士・保健師が行いますので、若い世代の方も、どなたでもお気軽にご参加ください。

年　齢	骨の状態	対　策
20～30歳代	骨量が最大のピークを迎えますが、生理不順の方や細身で筋肉が少ない方は骨量が少ない傾向にあります。過度なダイエットは禁物。	適度な運動・食事の好き嫌いをしないことを心掛け、骨量を確保しておくことが大切です。まずは自分の骨量がどれくらいかを知っておきましょう。
40～50歳代	徐々に骨量が減少していく時期で、女性は閉経を機に、急激に骨量が減少します。	カルシウムを摂り、身体を適度に動かしましょう。 <男女の年齢と骨量の変化> 
60歳代～	女性の２人に１人が「骨粗しょう症」だといわれています。 “最近背が縮んできた”“背中が曲がってきた”というのは骨粗しょう症の症状です。	

＊40歳を過ぎたら、半年に１回の骨密度測定をお勧めします。

※骨密度測定はかかとの部分で測る簡易な機器ですので、医療機関の機器とは異なります。“背が縮む、腰が痛い、背中が曲がってきた、圧迫骨折の既往がある”などの症状がある方は、医療機関での詳しい検査をお勧めします。

予約・問い合わせ　**ほけん福祉課（すこやかセンター伊野内）　☎８９３－３８１１**